



**IEEE RO-MAN 2008**  
The 17<sup>th</sup> IEEE International Symposium on  
Robot and Human Interactive Communication



**Best Paper Award**

Presented to

**Minoru Hashimoto, Hiromi Kondo and Yukimasa Tamatsu**

For the paper entitled  
"Effect of Emotional Expression to Gaze Guidance using a Face Robot"

Martin Buss  
General Chair

Kolja Kühnlenz  
Program Chair



2009年9月30日、富山国際会議場において開催された第18回IEEE RO-MAN2009(ロボットと人間のインタラクティブコミュニケーションに関する国際シンポジウム)において、バイオエンジニアリング課程橋本教授らのグループが最優秀論文賞を受賞した。

本シンポジウムは1992年より毎年開催されているもので18年の歴史を持つ。フルペーパーの査読によって審査され、採択されたものだけが発表を許可される形式で行われている。

ミュンヘンで開催された2008年の第17回シンポジウムにおいて、同グループは「顔口ロボットを使った視線誘導における情動表出の効果」と題する論文発表を行い、最優秀論文として採択され2009年の本シンポジウムにおいて授賞式が行われた。